

平成 27 年度第 1 回

函館市榎法華地域審議会会議録

(平成 27 年 7 月 27 日)

函館市榎法華支所

平成 27 年度第 1 回函館市榎法華地域審議会会議録

開催日時	平成 27 年 7 月 27 日（月） 16 時 00 分～16 時 43 分		
開催場所	函館市榎法華支所 旧議場		
議 題	1 前回の意見等の集約結果と取組状況について 2 平成 26 年度事業の実績報告等について 3 地域振興全般に関する意見交換 4 その他		
添付資料	資料 1 平成 26 年度第 4 回函館市榎法華地域審議会意見・要望等に対する取組状況 資料 2 事業実績一覧（平成 26 年度） 資料 3 北海学園大学経済学部 西村宣彦ゼミナール I・II 2014 年度 地域研修報告書（2015 年 3 月 31 日発行） 「都市と漁村の結合 II～函館市・合併 10 年目の検証～」 資料 4 明治学院大学社会学部社会学科 石川実習 社会調査実習報告書 Vol.31 抜刷（2015 年 3 月） 「平成の編入合併をめぐる諸状況と地域自治の展望 ～函館市の編入合併地区の事例より」		
出席委員	◎木 下 恵 徳 委員 ○北 村 和 彦 委員 亀 沢 正 史 委員 川 口 英 孝 委員 小 市 光 子 委員 越 崎 賢 弥 委員 五ノ井 孝 司 委員 佐々木 真 弓 委員 竹 田 ノブ子 委員 長 崎 賢 一 委員 中 村 麻 友 委員 （◎会長 ○副会長） (計 11 名)		
欠席委員	岡 山 弘 一 委員 小 野 加奈子 委員 中 村 元 勝 委員 三 島 静 香 委員 (計 4 名)		
事務局出席者の職氏名	函館市榎法華支所 支所長 山 田 隆 嗣 地域振興課長 小 辻 淳 一 市民福祉課長 山 本 潤 一 産業建設課長 平 沢 浩 樹 地域振興課主査 川 口 勝 也 地域振興課主任主事 金 澤 良 一 地域振興課主任主事 横 道 美 則 函館市教育委員会 榎法華教育事務所長 佐々木 真 函館市企画部 計画推進室計画調整課長 竹 崎 太 人 計画推進室計画調整課主査 木 戸 幸 治 計画推進室計画調整課主査 嶽 本 政 弘 (計 11 名)		
その他	傍聴者 (計 0 名) 報道機関 函館新聞社 (計 1 社)		

○事務局 開会にあたり、本審議会会長から挨拶を申し上げる。

○木下会長 昆布の盛漁期で大変お疲れの中を出席いただき、お礼申し上げる。

本日の地域審議会の議題は、「前回の意見等の集約結果と取り組み状況」、「平成 26 年度事業の実績報告等」、「地域振興全般に関する意見交換」が主な内容となっている。

忌憚のない自由闊達な討議を進めたいので、よろしく願います。

○事務局 続いて、楳法華支所長から挨拶を申し上げる。

○山田支所長 楳法華地区においては、いよいよ盛漁期に入るこの時期、委員の皆様においては、大変忙しい中、集まっていただき、お礼申し上げる。

これまでも防災対策が楳法華地区の最重要課題であると申し上げてきたが、市では、昨年の御嶽山の火山災害を契機に火山防災対策の強化に乗り出し、本年 3 月には、函館市防災会議に「恵山火山防災対策部会」を設置し、今年度末を目途に噴火警戒レベルの検討や避難計画の作成を開始したところである。支所としては、こうした動きを踏まえて火山災害を想定した地域防災訓練も実施しなければならないと考えているので、その際には、委員の皆様の協力をよろしく願います。

本日は、平成26年度事業の実績報告などについて説明をする予定となっているが、引き続き、より良い地域づくりのため、忌憚のない意見や提言をいただきたいので、よろしく願います。

○事務局 議事に入る前に、人事異動があったので、職員の紹介をする。

- ・楳法華支所地域振興課長 小辻淳一
- ・楳法華支所市民福祉課長 山本潤一
- ・楳法華教育事務所長 佐々木真
- ・企画部計画推進室計画調整課長 竹崎太人
- ・企画部計画推進室計画調整課主査 木戸幸治

出席委員の報告をする。出席者 11 名、欠席者 4 名で、委員の半数以上が出席しているため、地域審議会の設置に関する規程第 8 条第 3 項の規定により、会議が成立していることを報告する。なお、岡山委員、小野委員、中村元勝委員、三島委員については、本日欠席となっている。

これからの進行については、地域審議会の設置に関する規程第 8 条第 2 項の規定により、会長が会議の議長を務めることになっている。

○木下議長 ただ今から平成 27 年度第 1 回函館市楳法華地域審議会を開催する。

議題 1 「前回の意見等の集約結果と取組状況について」事務局から報告願う。

○小辻課長 資料 1 により、平成 26 年度第 4 回楳法華地域審議会において、委員の皆様から出された意見・要望等に対する取組状況を報告する。

1 点目は、北村委員から発言のあった高齢者あんしん相談窓口の除雪体制への意見であるが、除雪サービスの利用に当たっては、市または地域包括支援センター社協が高齢者から電話などで相談を受けた後、包括支援センターがサービスの必要性や除排雪を行う場所などの確認を行った後にサービス利用者に代わって市へ申請し、市が利用決定を行う。高齢者自らが申請書の記載や市への提出をすることがなく、全て包括支援センターが代行申請することから、高齢者に配慮した申請方法となっている。今後については、事業内容や申請方法などを地域住民にわかりやすく周知するよう努めて参りたいとしている。

2点目は、北村委員ならびに川口委員から発言のあった新幹線開業に向けた取り組みについての意見である。新幹線開業に向けた取り組みとして、観光課で観光パンフレットを作成中であり、東部4地域については、亀田半島を巡るドライブコースとして掲載予定となっている。

○木下議長 ただ今の報告に関し、何か質疑、意見等があればお願いします。

(なし)

○木下議長 次に議題2「平成26年度事業の実績報告等について」事務局から説明願う。

○小辻課長 資料2の事業実績一覧の1ページ、平成26年度事業実績総括表であるが、表の一番左の区分欄、「1. 多様で力強い産業を振興するまちづくり」から一番下の「5. 連携と交流によるまちづくり」まで榎法華地域に関する予算額と実績の総額を報告する。

「1. 多様で力強い産業を振興するまちづくり」であるが、予算額3,671万円に対して、実績3,258万6千円となっている。

「2. 安全で快適な生活環境を充実するまちづくり」であるが、予算額5,280万円に対して、実績3,277万5千円となっている。

「3. やさしさとぬくもりのあるまちづくり」であるが、予算額3,094万8千円に対して、実績2,970万9千円となっている。

「4. いきいきと学び地域文化を育むまちづくり」であるが、予算額36万3千円に対して、実績36万5千円となっている。

最後に、「5. 連携と交流によるまちづくり」であるが、予算額68万8千円に対して、実績38万7千円となっている。

以上、事業実績総括表について説明したが、2ページ以降の細部の額については、産業建設課、市民福祉課、教育事務所、地域振興課の順で各課長から説明する。

○平沢課長 産業建設課関連の事業実績報告をする。

2ページの(2)の水産業の振興ということで、決算額が248万7千円である。これは、毎年漁協が行っているウニの深浅移殖事業に対しての市の補助額である。平成26年度も70万個の深浅移殖が行われている。

(3)農林業の振興である。市有林等の整備ということで、決算額が2万1千円である。これは、新恵山地区の市有林の整備で、決算額が予算額に対してだいぶ少ないが、農林水産部に問い合わせたところ、東部4地域の予算で相対的に行っており、平成26年度は、ほかの地域が優先となった。今年度は、多く行う予定と聞いている。

(5)観光の振興ということで、決算額が3,007万8千円である。これは、平成25年度から3年間、ホテル恵風の改修事業として実施しているが、平成26年度は、2階の冷暖房ユニット25台の取替修繕を行った。

3ページの(2)の消防・防災・生活安全の充実ということで、河川の整備である。これは、矢尻川の水量を分散させるための工事であり、平成25年度から工事をしているが、平成26年度の決算額は、1,507万3千円である。

(3)交通・情報ネットワークの形成の中で港湾の整備ということで、決算額が899万1千円であるが、これは、例年どおり国の港湾工事に対しての、港湾管理者、市の負担分である。港湾工事は、越波対策として東防波護岸の嵩上げ改良で平成21年度から実施している。事業費は、前年度の繰越分が7,900万円ほどあったので、平成26年度の当初予算6,000万円をあわせて、約1億4千万円分の工事の実施となり、嵩上げは、護岸55.9メートルで実施している。

○山本課長 4ページの(3)の高齢者福祉の推進ということで、決算額は、2,970万9千円となっている。内容は、温泉等入浴優待事業費として75万6千円、楯法華地区の配食サービス支援事業として652万5千円、楯法華地区送迎サービス支援事業費として87万3千円、生活管理短期宿泊事業費として48万7千円、楯法華高齢者福祉総合センター管理委託費として1,987万7千円、楯法華高齢者福祉総合センター関係費として118万8千円となっている。

5ページの「5. 連携と交流によるまちづくり」の(1)の住民参加の推進ということで29万1千円。これは、地域パワーアップ事業の委託料である。

○佐々木所長 5ページの「4. いきいきと学び地域文化を育むまちづくり」の(1)生涯学習の推進のその他関連事業の推進について、実績額は、36万5千円で、その主な事業内容は、「楯法華ふれあい大運動会事業」、体験教室事業として「陶芸教室」、健康推進事業として「恵山登山」、「高齢者ふれあいいきいき学級事業」、「4地区交流パークゴルフ事業」、「新春書き初め会事業」などである。

次に「5. 連携と交流によるまちづくり」の(2)国際交流・地域間連携の推進のその他関連事業の推進として、実績額は、9万6千円で、事業内容は、「楯法華地区・風間浦村友好地域子ども交流会事業」である。

○小辻課長 地域振興課に関する部分について説明する。

3ページの「2. 安心して快適な生活環境を充実するまちづくり」の(2)消防・防災・生活安全の充実のその他関連事業の推進であるが、実績は、258万7千円で、防災行政無線の維持管理に係る保守点検委託料などの経費である。

(3)交通・情報ネットワークの形成のその他関連事業の推進であるが、実績は、281万5千円で、地域福祉バスの運行に係る委託料などの経費である。

4ページの(5)生活環境の整備充実である。これは、企業局の事業であるが、私から説明する。実績は、330万9千円で、内容は、矢尻小川の改修に伴う配水管の移設工事および漏水調査に係る経費となっている。

○木下議長 ただ今の説明に関し、何か質疑・意見等があればお願いします。

○北村委員 地域パワーアップ事業について、これは、モデル事業でスタートしたと思うが、予定期間はいつまでか。

○山本課長 地域パワーアップ事業は、3年間のモデル事業で、昨年度から実施なので、今年度と来年度のあと2年間で終了する。

○木下議長 ほかにないか。

○亀沢委員 資料の中に「その他関連事業の推進」という項目が多いので、次回からは、今説明したような詳細を含めた資料を作してほしい。

○木下議長 口頭で説明されてもわからないので、詳細を表にして資料として配付してほしい。

○小辻課長 資料の編さんの中で事項がわかるように対応したい。

○木下議長 ほかにないか。

(なし)

○木下議長 議題3「地域振興全般に関する意見交換」であるが、地域振興に関し、何か意見等があればお願いします。

○北村委員 災害時の業務継続計画（BCP）の策定については、本庁では、結構進んでいると聞いているが、支所においての進捗状況を教えてほしい。もっとも全国の市町村の8割が未策定という新聞報道もあったので、現状で教えてほしい。

○山田支所長 災害時の業務継続計画については、大規模災害などにおいて限られた人員や設備で最低限の業務を続ける具体的な手順や復旧作業の優先順位などを盛り込む計画である。この計画の策定に当たり、市の総務部防災担当を中心にして、各対策部と協議・調整しながら策定に向けて準備を進めている。榎法華支所は、地区災害対策本部ということで、総務対策班、民生福祉対策班、産業建設対策班、教育対策班が、災害時における優先度の高い業務をそれぞれで洗い出しを行っている。いずれにしても、総務部の防災担当と連携を図りながら業務継続計画の策定に取り組んで参りたい。

○北村委員 ハードとソフトの両面を同時進行で整備していかなければならないと思うので、これからもよろしくお願いします。

○木下議長 ほかにないか。

○川口委員 小学校では、子どもたちに道路の横断は横断歩道を渡るように指導しているが、小学校から銚子町方向に向かう国道278号では、国道を横断するには、中学校前の横断歩道の次には横断歩道がないため、子どもたちが分かれて登下校しなければならない状況である。子どもたちが横断歩道を使わずに国道を横断することは危険なので、銚子町に横断歩道を設置していただきたい。

○平沢課長 函館市では、道路管理者や学校関係者等をメンバーとする通学路安全対策会議を開催しており、銚子町の横断歩道の設置については、今年6月に開催した会議の中で要望された新しい案件ということで、警察も含めて現地確認後、対策を検討する。

○佐々木所長 先日、小中学校の校長先生との会議があり、8月中に現地確認を行う予定である。

○木下議長 ほかにないか。

○小市委員 危険家屋について、新聞などで函館市の空き家に関する条例ができたと報道されているが、この地域では何一つ改善されていないように感じる。警察関係者からもこの地域は支所の向かいの建物も含めて本当に危ないところだと言われているので、できる限り対策をしていただきたい。

○小辻課長 函館市で空き家等の適正管理に関する条例が制定された。それに基づいて、周辺に危険を及ぼすような状態にあるものは、行政のパトロール、あるいは付近住民からの連絡等を受

けて、所管している都市建設部住宅課が危険度等を判断する一定の基準により判定し、管理するようにしている。支所管内においても複数棟あり、支所前の大きな建物も危険な状態にあると認識しており、危険家屋の管理台帳に登載されている。

基本的には、所有者の責任において安全管理をしていただき、最終的には、危険な状態であるから、解体等を進めていただきたいということで、手続きをすることになっている。本人方に連絡等をつけているが、経済的な負担等もあってなかなか進捗していないのが実情である。

○木下議長 ほかにないか。

○北村委員 旧村長公宅について、平成 22 年 12 月に住宅用物件から貸建物に替えて、審議会での会社が入るという事後報告を受けて、私は納得出来なかったが、今はどうなっているのか。会社が現存しているのか。

○小辻課長 旧村長公宅は、貸建物ということで普通財産となっている。平成 22 年度に合同会社という形で運営されていた民間事業者に貸し付け、今現在も契約が継続されているが、当該民間事業者の方で破産宣告をするということで、使用料については、平成 26 年度の 12 か月分の調定をしているが、2 か月分の入金があったが、それ以降は未納となっている状態にある。

しかし、代表社員であった方には、こちらから連絡をして、滞っている使用料の速やかな納入と、納入が終わると契約も期限を迎えるので、現在使用している敷地内にある財物等の撤去等もお願いをしている。

○北村委員 当時の契約書および契約内容に従っていくと、当然保証人関係も付いていると思うが、その辺は、確認出来ているのか。出来ていなければ、次回まで構わないので、賃貸契約が正当になされたかどうかを答えていただきたい。

○小辻課長 平成 22 年度当時の契約状況については、詳細を把握しておらず、この場で答えることが出来ないで、次回報告させていただきたい。

○北村委員 あそこは、中に入っているから道路から見えにくい。下手に入られて、火事でも起こされたら、笑い話にもならない。当時関わった人にヒヤリングすると同時に契約書があるはずなので、どういう経緯で契約したのかを調べてほしい。私も 5 年前の話は今でも納得出来ない。なおかつ草は伸びているし、ましてや前回（平成 22 年 12 月）、その時の（上戸）支所長は、「村長公宅は、この地域の象徴であると考えている。皆さんに不満や不信感を持たれたことは、申し訳ない。その辺はしっかり払拭して進めていきたい。」と言っている。それが 5 年経った今、会社の実体がない。これは、私からすると信じられない事態なので、これについては、次回まで徹底的に調べていただきたい。

○木下議長 それでは、次回報告願う。ほかにないか。

○小市委員 住民の結構多い声であるが、椴法華中学校と椴法華小学校が統合することになったら、小学校の校舎を是非福祉施設にしてほしい。現在ある福祉施設も順番待ちをしている間に、家族が重篤な病気になったり、遠くの施設に行って家族もなかなか会いにも行けなかったりで、大変な思いをしているようだ。もし統合されるようなことになったら、実現していただきたい。

○木下議長 もしもの話であるから、要望として聞いておく。そういう話は一切出していないので、

いずれそうなったときに要望としてあるということで、よろしく願います。ほかにないか。

(なし)

○木下議長 パワーアップ事業について、今まで行ってきてそれなりに実績があるのだが、社協と同じような事業を行ってきている中で、あと2年の事業で、計画であるからそれで終わるのは仕方がないと思うが、これを除排雪という面だけで継続出来るような、今までのシステムで行っていけるような方法を探って、何とかしていただければ、高齢者の家庭にとって安心出来るので、出来れば事業が終わる前に色々なことを考えてもらいたいと思うので、よろしく願います。ほかにないか。

(なし)

○木下議長 次の議題4「その他」であるが、企画部から配付している資料について説明がある。

○竹崎課長 皆様に2つの資料を配付している。1つが、北海学園大学西村宣彦ゼミナール地域研修報告書「都市と漁村の結合Ⅱ～函館市・合併10年目の検証～」で、もう1つが、明治学院大学で作った「平成の編入合併をめぐる諸状況と地域自治の展望」である。

昨年の9月初旬に北海学園大学と明治学院大学の学生が、市町村合併に関わる地域研修調査を行った際に、地域審議会の皆様をはじめ、地域住民の協力を元に住民意識の調査を行ったところであり、北海学園大学の調査については、昨年12月に恵山コミュニティセンターにおいて合併10周年記念フォーラムを開催した際に、「函館市東部4地域のあゆみとこれから」と題して、大学生による調査報告会を行っている。手元の資料がその報告書である。

また、明治学院大学の方についても、あわせて今回報告書の提出があったので、皆様に配付している。

この報告書は、アンケートの調査内容、聞き取りなどを通じて地域住民の皆様から合併に関する様々な意見をいただいて、それをまとめている。様々な思いや意見が載っている貴重な資料なので、私どもとしても、まちづくりの方向性だとか、まちづくりの姿を今後定めていく際にも貴重な意見として参照させていただく。皆様にも読んでいただきたい。

○木下議長 これで本日の議題は終了した。次回開催は、10月を予定している。議題内容については、「前回の意見等の集約結果と取り組み状況」、「平成28年度地域別事業計画(案)」、「地域振興全般に関する意見交換」等を考えているが、日程も含め、正副会長に一任願いたいと思うが、よろしいか。

(はいの声)

○木下議長 以上をもって、平成27年度第1回函館市楳法華地域審議会を閉会する。

午後4時43分終了